

本書の特色一覧

教育基本法との対応

※表データは弊社ホームページに掲載しています。

教育基本法第2条	『社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き』における教育基本法との対応	本解説書での特色と掲載頁
<p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健全な身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本文は、時代の特色や時代の転換点をとらえやすくなるようこころがけ、各歴史的事象が大きな流れのなかでどのような意味を持つのかについて記述した。 (p.52, 76, 96, 102, 116-117など) ●各時代の学習の冒頭に、2ページ大のイラストでその時代の人々の営みをいきいきと表現した「タイムトラベル」を掲載し、時代の特色がとらえやすく、かつ調べたくなるよう工夫した。 (p.20, 21, 30-31, 50-51, 72-73, 92-93, 114-115, 156-157, 202-203, 236-237) ●本文のページの各見開きでは、学習の導入として生徒の興味・関心をひく視覚的資料と学習で押さえるべき「学習課題」を示し、学習のまとめとして学習内容の確認をする「確認しよう」や知識を整理する言語活動を促す「説明しよう」で、自ら考察する力を身につけられるようにした。 (全体) ●各文化史のページの末尾には、その時代の学習内容を端的にまとめた「時代をふりかえって」を掲載し、時代の特色をつかむヒントとなるようにした。 (p.41, 47, 61, 83, 101, 125, 133, 191, 211, 233, 255) ●各部の終わりには、学習してきた内容を整理・習得し、かつその知識を活用して各時代の特色をまとめて説明する「時代を大観する学習」が実践できるページ「学習をふりかえろう」を配列した。 (p.48-49, 84-85, 136-137, 192-193, 234-235, 262-263) 	<p>おもに 特色1 p.5-12 特色3 p.19-22 特色4 p.25-28</p>
<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●先人たちの商業・生産活動などの営みや当時の生活のようすがいきいきと描かれたイラストから人々のたくましさや現代とのつながりを発見し、それらの歴史的な意味について考えることができる「タイムトラベル」を掲載した。 (p.20, 21, 30-31, 50-51, 72-73, 92-93, 114-115, 156-157, 202-203, 236-237) ●資料の分析や調査、「言語活動」を通して、思考・判断・表現の総合的な技能を養い、身につけることができるよう、「技能をみがく」コーナーや、特設ページ「トリアル歴史」を掲載した。 (p.10, 33, 106-107, 154-155, 177など) ●読みやすく誤読を防ぐために、本文やページ・図版のタイトルには、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用した。これにより、すべての生徒が読みやすくなるようこころがけた。 ●色覚特性のある生徒にもグラフや資料が読みやすいよう、隣り合う色の配色に配慮したり、境界線を黒ではっきりさせたり、資料として見るべき範囲が分かりやすくなるように図版のスペースを色で囲んだりするようこころがけた。 	<p>おもに 特色1 p.5-12 特色4 p.25-28 特色5 p.29-30</p>
<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●異なる考えや対立する考えを併記して紹介し、さまざまな立場から歴史を考えられるようにした。 (p.107, 168, 177, 181, 232など) ●女性の社会的立場の変遷や差別された人々など人権に関わる記述を、本文やコラム「羅針盤マーク(人権)」でいねいに紹介した。 (p.57, 77, 83, 116-117など) ●これからの社会をつくる担い手としての意識を育むため、社会の形成に関わってきたさまざまな人々が努力や工夫を行う姿を、「タイムトラベル」のイラストや「人物コラム」、地域の視点から各時代の歴史の側面を紹介したコラム「地域史」、特設ページ「歴史を探ろう」などを通して紹介した。 (p.64-65, 91, 128, 149, 159, 207, 210など) 	<p>おもに 特色4 p.25-28</p>
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●過去における人々と自然との関係のあり方やその変遷を知り、自然との共生をめざす態度を養うため、自然環境や自然災害に対する各時代の人々の考え方や営みを紹介した「自然環境」のコラム「羅針盤マーク」を掲載した。 (p.47「自然をうやまった古代の人々」、135「江戸のごみを利用した農業」など) 	<p>おもに 特色4 p.25-28</p>
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらははぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自然をうやまう心や、素朴さや質素さに美を見いだす心、助け合いや結びつきを大切にすることなどが歴史のなかでどのように生まれてきたのかについての記述を盛り込み、日本人が古くから育んできた気質や美意識への理解を深められるようにした。 (p.47, 76, 82-83など) ●伝統や文化への教養を深めるため、文化史のページを大幅に充実させ、日本のさまざまな文化財や芸術について紹介するスペースを設けた。 (p.38, 44, 80, 98, 130, 188, 208, 252) ●各時代の文化史のページの本文は、政治・経済・国際関係などの社会的背景をふまえて記述するとともに、文化を形成した人々の活動、人々が努力や工夫をする姿などにも触れるようにした。また、随所に祭りや伝統行事を事例として扱い、それらを通して当時の人々の営みや時代の雰囲気伝えるようにした。こうすることで、日本の伝統・文化へのより深い理解を促せるよう、こころがけた。 (巻頭1, p.6-11, 38-41, 77, 109, 98-101など) ●国家や地域の枠組みを越えて共生にむけて活動した先人たちの姿を「交流」「平和」といったコラム「羅針盤マーク」で紹介し、多様な人々が共存する社会を築く上でヒントとなる知識を学べるようにした。 (p.183, 225など) ●領土をめぐる問題については特設ページを設け、現在に至るまでの歴史的経緯をていねいに紹介した。 (p.246-247) 	<p>おもに 特色2 p.13-18 特色4 p.25-28</p>

検討の観点からみた内容の特色

※表データは弊社ホームページに掲載しています。

観点	観点の内容	本書の特色	本解説書での特色と掲載頁
内容の程度・分量	教育基本法との関連が十分に図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第1条の目標及び教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、社会科の目標や学習内容と関わらせた指導を効果的に行うことができるように構成されている(詳細は本資料p.33を参照)。 ●自然をうやまう心や、素朴さや質素さに美を見いだす心、助け合いや結びつきを大切にすることなどが歴史のなかでどのように生まれてきたのかについての記述を盛り込み、日本人が古くから育んできた気質や美意識への理解を深められるように配慮されている。 ●人権獲得の歴史やその背景の学習を通じて、人権という概念の存在意義を知り、これらを尊重する態度を養えるようになっている。 ●歴史的事象に対して、多様な立場や考え方があることを認識し、多面的・多角的な視点でものごとをとらえられるように配慮されている。 ●日本の伝統や文化を多く扱い、その学習を通して、我が国や郷土を愛する心を育むとともに、他国のさまざまな文化にも目をむけ、それらを尊重する心を養うよう配慮されている。 	p.33 および おもに 特色2 p.13-18 特色4 p.25-28
	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」「この教科書の学習の仕方」では、単元構成と学習内容、コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがつかみやすいように工夫されている。(p. I-III) ●知識が確実に習得できるよう本文や資料でていねいに解説され、知識を積極的に活用する態度の形成を促すコラムや作業が随所に盛り込まれ、公民的資質の基礎を養えるよう配慮されている。 ●時代の特色が一望できる「タイムトラベル」、歴史の大きな流れが分かる本文、時代の特色をまとめた「時代をふりかえって」、部の最後の「学習をふりかえろう」と配列が構造化され、「時代を大観する学習」が確実に実践できるように工夫されている。 	おもに 特色1 p.5-12 特色3 p.19-22 およびp.23-24
	各単元・見開きの分量は、ねらいや発達段階に応じて偏りなく適切で、系統性が考慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●1見開き1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ●授業数は、第1部に12時間、第2部に13時間、第3部に12時間、第4部に17時間、第5部に22時間、第6部に15時間、第7部に10時間、各時代の冒頭の「タイムトラベル」と部末の「学習をふりかえろう」で15時間が配当され、標準授業時間数130時間のうち116時間を活用する配当で、適切である。予備時間は、14時間設けられている。 ●文化史は、文化財などの大きな写真を掲載したり、社会的背景や文化財についてていねいに記述したりするなどの工夫を行い、2見開き1テーマに設定されている。 	おもに 特色2 p.13-18 特色3 p.19-22
	内容の程度・範囲・及び文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ●記述は具体的に例示したり、歴史的事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど、ていねいでわかりやすい本文になっている。また、平易な表現にするなど、中学生の発達段階が考慮されている。 ●本文、図版タイトル、全ての人名、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞・歴史用語には適宜ふりがなが付されており、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。 ●文体は「です、ます」調の語り口で、生徒に親しみやすくなっている。 ●中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。 	おもに 特色2 p.13-18 特色4 p.25-28
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各見開きは、本文、資料、側注などが統一したレイアウトで配置され誌面の使い方が整理されている。学習内容が定着するよう、「見直し→本文→振り返り」という展開で構造化されている。 ●本文と資料の関連する箇所には、図・写真や他ページへの適切な参照指示が記載され、学習内容を効果的に理解できるとともに、効率良く資料の活用ができるように工夫されている。 ●各見開きには、学習している時代がわかるように時代ごとの色を統一している。また、誌面右端の見出しには、時代を明記するとともに、その見出しは、見返しに掲載した日本の歴史年表と対応させており、時系列を確認しながら、学習できるように工夫されている。 ●用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒の集中を切らさないうえに授業を進められる。 	おもに 特色2 p.13-18 特色3 p.19-22 および ユニバーサルデザインへの配慮
内容の扱い	基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得でき、学力向上に寄与するよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●見開き1時間の誌面が、興味・関心を引く「導入」→学習のめあてを見通せる「学習課題」→ていねいでわかりやすい「本文」→学習事項を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の流れで構造化され、基礎的・基本的な知識や技能、概念が確実に習得できるように配慮されている。 ●各部の構成を統一し、「タイムトラベル」のイラストや資料から学習内容を見直し、「学習をふりかえろう」で学習内容を振り返る学習活動ができるようになっている。 ●本文は、全編にわたり歴史的な背景や影響がわかるように因果関係をふまえたうえで、具体例を挙げながらわかりやすく記述されている。また、文章で書かれた内容を補足し理解を促進する、わかりやすい図解や写真が多数掲載されている。 ●「技能をみがく」コーナーが11か所設けられ、資料の具体的な見方から考え方、表現方法まで、歴史学習の基礎的・基本的な技能が習得できるよう配慮されている。 ●地域調査の単元では調査テーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能が系統だって具体的に示されており、技能を習得しやすい配慮がされている。(p.5-12) 	おもに 特色1 p.5-12 特色2 p.13-18 特色3 p.19-22 特色4 p.25-28 およびp.23-24
	生徒の興味・関心を喚起させ、主体的に学習に取り組む態度を形成できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●誌面を幅広の判型(AB判)にすることで、写真や地図や年表などが大きく見やすく提示され、歴史への興味・関心が喚起されるように工夫されている。 ●時代の冒頭に、時代のようなすがいきいきと描かれたイラスト「タイムトラベル」が掲載され、生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。「次の場面を探してみよう」で重要な歴史事象を読み取ることができ、本文の学習課題と関連づけられるなど、学習に意欲的に取り組めるように配慮されている。また「さくいんグリッド」の工夫がなされ、主体的に学習へ取り組める配慮がなされている。 ●生徒にとって親しみやすい中学生などのキャラクターが各ページに配され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習へ取り組める配慮がなされている。 ●地域調査の単元では調査テーマの決め方、視点の例、調査手順、などが具体的に示されており、生徒が主体的に学習をすすめられるよう配慮されている。(p.5-12) 	おもに 特色1 p.5-12

内容の扱い	<p>正確かつ公正であり、多面的・多角的に考察することで社会的な見方や考え方の基礎を養えるよう配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本文は、政治史のみならず経済史や社会史の側面からもとらえる視点を重視した記述となっている。 ●コラム「地域史」が22か所設けられ、地域から歴史をとらえる視点が意識できるよう工夫されている。 ●学習した歴史的事象を、地域の具体的事例を通して掘り下げられる特設「歴史を探ろう」が11か所設けられ、地域からも歴史をとらえるよう配慮されている。(p.28, 64, 112, 122, 134, 164, 170, 212, 222, 230, 246) ●さまざまな立場からみた史料を掲載し、自己の価値観とは違う他者の価値観も尊重できる考え方を身につけられるよう配慮されている。 ●古代の日本の国家形成は、東アジア諸国の動向とも深く関係しながら展開したことなど東アジアと日本の動きを意識した本文記述がされている。 ●近現代の世界史見開きを増やしており、世界と日本とのつながりがよりわかりやすくなるように整理・工夫されている。また、世界の古代文明や宗教、近世のヨーロッパとの結びつきの記述が充実され、日本への影響がわかるように工夫されている。 ●沖縄や北海道における歴史も、通史的に理解できるように工夫されている。 	<p>おもに 特色2 p.13-18 特色4 p.25-28</p>
	<p>小学校との接続や関連に関して、どのように配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の学習指導要領で示された42人の人物がもれなく取り上げられている。 ●第1部第1章「歴史の流れと時代区分」は、小学校の学習指導要領で示されたおもな人物や出来事を振り返るイラストや年表が設けてあり、中学校での歴史学習への橋渡しとなるように配慮されている。 ●巻頭と巻末の見返しには、小学校で学習するおもな出来事を中心に構成した日本の歴史年表が掲載され、各見開きの誌面の右端につけた見出しと関連させることで、中学校での歴史学習にスムーズに入れるよう工夫されている。 ●各時代の冒頭に設置した「タイムトラベル」には、小学校で学習した人物とおもな出来事を中心に構成した年表が併置され、これから学習する内容にスムーズに入れるように工夫されている。 	<p>おもに 特色1 p.5-12</p>
	<p>他分野との接続に関して、どのように配慮されているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●掲載資料には、地図が多数取り入れられており地理的分野との接続が考慮されている。 ●「自然環境」「人権」「交流」「平和」といった、現在および将来の社会が直面する課題の歴史的経緯を取り上げたコラム「羅針盤マーク」が34か所設けられ、公民的分野への接続が考慮されている。 	<p>おもに 特色4 p.25-28</p>
学習活動	<p>「見通し・振り返り学習活動」に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本文のページには、本時の目標を示した「学習課題」と、学習内容の復習ができる「確認しよう」「説明しよう」が記載され、「見通し・振り返り学習活動」がしやすい構成になっている。 ●各時代の学習の冒頭に配列した時代の特色を描いたイラスト「タイムトラベル」と本文の関連が高まるよう、「タイムトラベル」には本文の学習課題につながる「次の場面を探してみよう」が設けられ、本文からは「タイムトラベル」への参照記号が付されて「見通し・振り返り学習活動」がしやすい構成になっている。(p.20, 21, 30-31, 50-51, 72-73, 92-93, 114-115, 156-157, 202-203, 236-237) 	<p>おもに 特色1 p.5-12 特色3 p.19-22 およびp.23-24</p>
	<p>「習得」「活用」「探究」の学習活動を展開できるような内容の質・量の充実がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「技能をみがく」コーナーが11か所設けられ、資料の具体的な見方から考え方、表現方法まで、歴史学習の基礎的・基本的な技能が習得できるよう配慮されている。 ●部末に設置された「学習をふりかえろう」には、「説明しよう」を設け、学習した内容を自分の言葉でまとめたり、表現したりするように生徒の探究活動を促す工夫がされている。 	<p>おもに 特色3 p.19-22</p>
	<p>言語活動を充実し、思考力・判断力・表現力を育くむよう配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●本文のページの見開きの右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設けられている。「確認しよう」では、本時の学習での習得事項の確認が、「説明しよう」では、本時の学習内容を活用して思考を促して自分なりに判断・表現する問いが設けられ、言語活動を毎時間くり返し行えるよう工夫されている。 ●イラスト「タイムトラベル」は、異なる時代どうしで比較して考察できるようになっており、思考力を養うように配慮されている。 ●学習内容と関連する歴史的事象を題材にして、歴史的思考方法を養い、協働的な学びが実践できる「トリアル歴史」が2か所設けられている。(p.106「島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ」、p.154「坂本龍馬暗殺のなぞ」) ●部末に設置された「学習をふりかえろう」には、「説明しよう」が設けられ、学習した内容を自分の言葉でまとめたり、表現したりできるように配慮されている。(p.48, 84, 136, 192, 234, 262) 	<p>おもに 特色3 p.19-22 特色4 p.25-28</p>
	<p>「個に応じた指導」が展開できるよう、補充的な学習や発展的学習、協働学習などへの配慮や工夫がなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●わかりやすい本文や、それを補足する図解で、基礎的・基本的な学習内容が定着しやすくなっている。 ●歴史的な見方・考え方を養い、協働的な学びの実践により学習を一層深められる「トリアル歴史」が2か所設けられている。(p.106「島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ」、p.154「坂本龍馬暗殺のなぞ」) ●地域調査の単元は、協働学習形態の提示が行われている。(p.5-12) ●特設「歴史を探ろう」では、学習したことを具体事例を通じてさらに深めることができるよう配慮されている。(p.28, 64, 112, 122, 134, 164, 170, 212, 222, 230, 246) 	<p>おもに 特色3 p.19-22</p>
	<p>生徒が家庭でも主体的に自学自習できるように配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、できるだけ軽い紙と軽量な製本様式が用いられている。 ●「この教科書の学習の仕方」(p.Ⅲ)、「タイムトラベル」の活用の仕方(巻頭2)が掲載され、自学自習がしやすくなっている。 ●本文のページは左ページ上段で導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを取り上げ、下部に本文を掲載する学習しやすいレイアウトに統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすくなり工夫されている。 ●本文のページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、予習・復習をしやすくなっている。また、単元のまとめになる「学習をふりかえろう」も復習をしやすいうように配慮されている。 ●時代ごとの色が統一されているとともに、誌面右端の見出しには時代名を明記することで、一目で学習している時代がわかるように配慮されている。また、誌面右端の見出しの長さは、見返しの日本の歴史年表と対応しており、時系列を確認しながら学習できるように工夫されている。 	<p>おもに 特色3 p.19-22 および ユニバーサルデザインへの配慮</p>

今日の課題への対応	「持続可能な社会」の実現に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「自然環境」「人権」「交流」「平和」といった現代および将来の社会が直面する課題の歴史的経緯を取り上げた「羅針盤」マークのコラムが34か所設けられ、過去の人々がそれらにどのように取り組んできたかが紹介されている。 	おもに 特色4 p.25-28
	環境教育に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や自然災害に対する各時代の人々の考え方や営みを紹介した「自然環境」のコラム「羅針盤マーク」を7か所掲載している。(p.47「自然をうやまった古代の人々」、135「江戸のごみを利用した農業」など) 	おもに 特色4 p.25-28
	防災に関して、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自然との共生をめざす態度を養うため、自然災害に対してどのように人々が取り組んだかを紹介した「自然環境」をテーマにしたコラム「羅針盤マーク」を設けている。(p.260「環境問題や災害に活かす知恵と技術」など) 	おもに 特色4 p.25-28
	我が国の領域をめぐる問題へ配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 特設「歴史を探ろう」において、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について歴史的経緯がわかるようにまとめられている。(p.246-247「日本の領土と近隣諸国」) 	おもに 特色4 p.25-28
	国旗・国歌を尊重する態度を育てよう配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国旗や国歌が成立した歴史的経緯や人々が国旗や国歌をうやまう態度を記述し、我が国の国旗および国歌を尊重する態度を養えるよう配慮されている。(p.191など) 	おもに 特色4 p.25-28
	人権教育の推進を図るための工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 人権に関する諸課題の経緯について紹介した「人権」のコラム「羅針盤マーク」が設けられている。(p.75「中世の老人と子ども、女性」、p.199「社会にはばたく女性たち」など) 	おもに 特色4 p.25-28
表記・表現	統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連が図られるなど活用するにあたり効果的であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ワイドな判型をいかして本文の記述を補足する写真や図表などが豊富に、また大判で掲載され、学習を深められるようになっている。 学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、タイムトラベルへの参照記号などのリンク機能が充実して設けられ、資料の活用を促している。 資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が設けられ、資料の活用を促している。 さまざまな時代や場面で日本の歴史に足跡を残した人物を紹介する「人物コラム」が側注欄に43か所掲載され、歴史により親しみがもてるように工夫されている。また、巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」が設けられ、資料の活用を促している。 側注欄に「歴史を学習する上で大切な用語を解説した「解説」が54か所掲載されている。また文章だけでは理解しづらい用語には、図や写真が添えられて視覚的に理解が深まるように工夫されている。(p.138「近代の政治体制」など) 	おもに 特色3 p.19-22 およびp.32
	カラーユニバーサルデザインへの配慮が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> 見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料は、色覚に特性のある生徒でも識別しやすい色や模様が使われている。 グラフなどの色線は、線種、記号などで差がつけられ、見分けやすいようになっている。 色数の多いグラフや地図には、模様が使用され、色以外での区別ができるよう配慮されている。 	おもに ユニバーサルデザインへの配慮
装丁等	紙質や印刷の鮮明度などは良好で、使用上の利便性がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 写真の印刷は鮮明で見やすくなっている。 地図などの図版は、記号や注記文字がよく読み取れるようになっている。 紙は、反射を抑えつつ鮮明に発色し裏写りせず、かつ文字も書きこめる軽量なものが使用されている。 	おもに ユニバーサルデザインへの配慮
	造本は3年間の使用に耐えるか。生徒が使いやすい工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 表紙の材料は引き裂き、引っ張り、折りなどに強い用紙が使用され、さらに、表面の摩擦・汚れを防ぐため、ポリプロピレンシートが貼られているため、長期間の使用に耐えられる。 製本は、従来の針金綴じよりも強度があり、かつ、重量の軽いPUR製本が用いられている。本が大きく開くため、掲載情報量が増えるとともに、机の上に開いたまま置くことができる。 	おもに ユニバーサルデザインへの配慮
	用紙・インキ等環境への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかからつくられるライスインキが使用され、環境保全と地産地消への配慮がなされている。 針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。 	おもに ユニバーサルデザインへの配慮
その他	特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインについての配慮がなされている(詳細は前述)。 図版が色で困まれ、どこまでが同一の図版か読み取りやすく、またちらつきを抑える工夫をしている。 各見開きのデザインは、本文、資料、側注などが統一したレイアウトで配置され、誌面の使い方が整理されており、生徒が学習しやすいように配慮がなされている。 時代ごとの色が統一されており、誌面右端の見出しには時代名を明記することで、一目で学習している時代がわかるように配慮されている。 本文などでは、文字がはっきりと読み取ることができるユニバーサルデザインフォント(UDフォント)が使用され、誤読を防ぐ配慮がなされている。 図版、写真、イラストは、幅広の判型(AB判)の大きさを生かし大きく掲載されており、生徒が読み取りやすく、考えられる資料になるよう配慮されている。 反射を抑えた紙が用いられ、読み取りやすく配慮されている。 	おもに ユニバーサルデザインへの配慮
	サポート体制・周辺教材等はどのようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 教師用指導書、デジタル教科書(指導者用・学習者用)、拡大教科書、資料集および準拠ワークが平成28年4月までに発刊される予定となっている。 	おもに 裏表紙